


< ##html:content\_type## >

メールマガジン 埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.349 2021.7.16

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」  
6月27日(日曜日)放送「副議長・議会運営委員長インタビュー」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様式や各委員会委員長のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、6月27日(日曜日)に放送した「副議長・議会運営委員長インタビュー」の内容をお伝えします。



副議長インタビュー



議運委員長インタビュー

☆放送スケジュールなど詳しくは、[県議会のホームページをご覧ください。](#)》

INDEX



県議会広報

テレビ番組「こんにちは県議会です」

「副議長・議会運営委員長インタビュー」

- ・岡地優 副議長
- ・立石泰広 議会運営委員長



議事堂の花

生け花のご紹介

## 県議会広報

### 【こんにちは県議会です「副議長・議会運営委員長インタビュー」】

#### 〈岡地優 副議長〉

昭和23年生まれの72歳  
埼玉県議会自由民主党議員団所属  
南第14区 桶川市選出  
平成25年、県議会議員に初当選(現在3期目)  
警察危機管理防災委員長、環境農林委員長、経済・雇用対策特別委員長などの要職を歴任  
今年3月、埼玉県議会副議長に就任

**副議長** 県民の皆さま、こんにちは。このたび副議長を拝命いたしました岡地優でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

—埼玉県議会の副議長に就任された抱負をお聞かせください。—



**副議長** 歴史と伝統ある埼玉県議会の副議長という要職に就き、大変光栄でありますとともに、その重責に身の引き締まる思いです。公正かつ円滑な議会運営に務めてまいります。

—政治家を志したきっかけを教えてください。—

**副議長** 私の父は長年、桶川市議会議員をしておりましたが、最初は私自身は政治家になるつもりはなかったんです。市議会議員として日々奮闘している父の姿を改めて振り返ると、だんだんと自分自身ももっと幅広く地域の役に立ちたいという気持ちが沸き上がってきました。最終的には、政治の世界に飛び込む決意をいたしました。

—お父様と同じ道を歩まれることになったのですね。議員になる前は、どのようなお仕事をされていたのですか。—

**副議長** 消防士でした。市民の安全に関わる仕事で、やりがいがありました。もし、議員の話が無ければ定年まで勤め上げたと思っています。消防士になる前は、陸上自衛隊にいたこともあります。

—いずれも規律の厳しい職場ですね。—

**副議長** そのため、選挙ポスターの写真撮影は本当に苦勞をいたしました。笑顔をつくるというのがなかなかできませんでした。それまでは仕事柄「歯を見せるな」「口は結んでおくもの」という世界で育ってきましたから。結局、最初のポスターは笑顔がぎこちないものになってしまったと思います。

—議員になられて随分経ちますが、笑顔にはもう慣れてきましたか。—

**副議長** いえいえ、今でも難しいなと感じています。

—市議会議員を経て、現在県議会議員3期目になられました。県議会議員に転身されたのはどうしてですか。—

**副議長** 市議会では議長も務めさせていただき、平成25年に行われた県議会議員の補欠選挙の時には、立候補するように推してくれる人がかなり

いました。いろいろ悩みましたが、地元・桶川市や埼玉県のさらなる発展のために力を尽くしたいと思い、立候補を決意し、周囲の皆さんの協力もあってなんとか当選させていただきました。

—市議会議員と県議会議員の両方を経験されて、違いをお感じになることはありますか。—

**副議長** 市議会議員は住民の身近なところで、その声を政策に生かしていくというやりがいがあります。一方、県議会議員になったときその財政規模の大きさ、政策の実現性の高さに驚きました。いずれも住民の皆さまの代弁者として必要な存在だと思っています。

—副議長が県議会議員になって特に印象に残っていることは何でしょうか。—

**副議長** 平成27年に圏央道の埼玉県区間が全面開通したことです。このことにより様々な高速道路がつながり、人やモノの行き来が活発化しました。開通式に出席させていただきましたが、埼玉のインフラの歴史の転換点に立っているようで、高揚した気持ちになりました。



—経済への好影響も期待できそうですね。—

**副議長** そのとおりです。企業立地が大きく進展し、産業が盛んになることが期待できます。「まちづくりとは何か」と考えたとき、まずはインフラ整備が重要だと感じております。地域経済の活性化のためにも、必要な公共事業をしっかりと進めていきたいと思っております。

—ここからはプライベートについても伺ってまいります。趣味という点、どのようなことが挙げられますか。—

**副議長** 植木や盆栽が好きです。これは先日、わが家のナンジャモンジャの木にはじめて花が咲いたときのものです。



—きれいですね。—

**副議長** こちらはサギ草です。シラサギが翼を広げて飛んでいる姿にそっくりな花を咲かせるんです。



—なるほど、こちらもかわいいですね。—

**副議長** この花は冬を越すのが難しく、育てるのが大変なんです。知人からアドバイスをもらったりして、ようやく花が咲くようになりました。今ではサギ草を増やして、仲間と展示会を開いたりして楽しんでおります。

—植木や盆栽をいつ頃から続けられているのですか。—

**副議長** 若いころから植木の手入れをすることが好きでした。そういえば、中学生の時にはサボテンを育てるのに凝った覚えがあります。植物の世話は手間がかかりますが、それ以上の喜びがありますね。

—座右の銘は何かありますか。—



**副議長** 「継続は力なり」という言葉です。一つのことを粘り強くコツコツ何度も取り組むというのは自分の性格にも合っていると思っています。かなり以前からこの言葉を信条にしています。



—そうしたパーソナリティ形成に影響を与えた事で何か思い当たるものがありますか。—

**副議長** 高校時代陸上競技で長距離をやっていたことですかね。駅伝で県予選4位に入って関東大会まで行きました。1日で疲れるほどやる訳ではないけれども、1時間でも時間を割いて毎日続けていく。長く続けていく方がいい、そう実感できたのだと思います。

—体も鍛えられますしね。—

**副議長** 若い時に陸上をしたおかげなんですかね、今も元気です。常用薬は飲んでいません。



—本当にお元気そうですね。では最後に、今後の議会運営について、お考えをお聞かせください。—

**副議長** 世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症への対応など、難しい課題が山積しておりますが、課題の解決に向けてしっかりと取り組んでいきたいと考えております。感染症の対策を行っていく上で、行政サービスにおけるデジタル化の遅れが浮き彫りになりました。本年は、行政サービスを含めた社会構造の転換期を迎える重大な局面であり、埼玉県の真価が問われる年になると思います。県議会としても、その役割や機能をしっかりと発揮できるよう、木下議長のもと全力で取り組んでいきます。

[▲トップへ](#)

## 〈立石泰広 議会運営委員長〉

—自己紹介と、ごあいさつをお願いいたします。—

**委員長** 委員長を務めております、川口市選出の立石泰広でございます。公正で、円滑な議会運営に取り組んでまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



—議会運営委員会は、どのような役割を担っているのでしょうか。—

**委員長** 議会運営委員会の役割は、円滑かつ効率的に議事を進行するために必要な事項を協議し、意見調整を図ることにあります。県議会は、県民の代表として、皆さまの声を県政に反映させるという大きな使命を担っております。限られた時間の中でより活発な議論を行うために、私たち議会運営委員会での協議や調整がとても重要であると考えています。

—議事を円滑に進行するための調整役、ということですね。—

**委員長** 県議会の議員定数は93名です。これだけの人数がいる中で効率よくスムーズ



に本会議を進めていくためには、事前の連絡や調整が欠かせません。



—委員長に就任された3月末以降、臨時会が複数回開かれました。また6月14日から6月定例会が始まりましたが、議会運営委員会としてどのような活動をされたのですか。—

**委員長** 本会議の前や休憩時間に委員会を開催し、会期日程や議事の進め方などについて話し合いを行いました。このほか、意見書の取り扱いや採決の方法など、さまざまなことを協議します。

—たくさんの事柄について協議されるのですね。—

**委員長** 知事や議員から提出された条例や予算などの議案、県民の皆さまから提出された請願などを、どの委員会に付託し審査すべきか、といったことについても協議をしています。



—最後に、委員長としての抱負と決意をお聞かせください。—

**委員長** 昨年来、世界中で新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況の中、埼玉県議会におきましても感染予防対策の充実が図られてきました。

新年度の県議会では、本会議における手話通訳の導入、一般質問の一问一答式、ペーパーレス化の推進、オンライン委員会の導入等の議会改革が本格化することとなります。

微力ではありますが、公平公正な議会運営はもとより、さまざまな議会改革を進めるべく、鋭意努力してまいります。

[▲トップへ](#)

## 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。  
【協力 埼玉県いけばな連合会】



- ◆展示期間  
7月5日～7月9日
- ◆作者  
関東未生流 海老原 麻甫様
- ◆花材  
百合、デンファレ、笹、シダ、コデマリ

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈関東未生流 海老原 麻甫様〉

Q:星の飾り付けや人形が、すてきですね。

A:日本の伝統的な行事である七夕を、笹や星の飾り付けで表現してみました。

Q:花器もすばらしいですね。どういったものですか。

A:信楽という花器でございます。表面がざらざらしていて、落ち着きがあり、和を感じさせる花器です。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail [a6250-03@pref.saitama.lg.jp](mailto:a6250-03@pref.saitama.lg.jp)

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

